



ジブリパーク 11月1日 OPEN!



鈴木 須崎県議会議長

星野 星野株式会社 星野 星野株式会社 星野 星野株式会社

大村 大村知事

歓迎セレモニー記念写真 2022.10.12

■9月定例愛知県議会閉会

10月14日に閉会した愛知県議会9月定例会には、最終日に国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金)の増額に呼応し一般会計で207億4千万円の増額補正が追加され、9月補正合計は995億5千万円(内コロナ関連923億円(企業会計26億円含む)、今年度合計3,183億円、累計1兆4,234億円)となりました。

- ・子育て世帯を支援するため愛知県子育て世帯臨時特例給付金として児童手当受給者に児童1人当たり1万円を支給【新規95億円】
- ・低所得世帯の高校生等の学校外活動費1人当たり1万円を支給【2億円】
- ・光熱費高騰による影響を緩和するため私立学校、保育所等、介護事業者や障害福祉サービス事業所等、医療機関及び土地改良区を支援【100億円】
- ・子ども食堂へ食費高騰分を支援【0.2億円週1回未滿開催5万円等】
- ・露天風呂対応など宿泊施設のリノベーション等による高付加価値化を図る取組を支援【10億円上限1億円補助率2/3等】



■ジブリパーク3エリア先行 OPEN! 概算工事費約182億円ほか公園内整備駐車場渋滞対策等157億円



©Studio Ghibli

参考移動時間(内覧所要時間)

公園北口→青春の丘
(内覧所要時間約30分)まで約15分
青春の丘→ジブリの大倉庫
(同1時間～2時間)まで約5分
ジブリの大倉庫→どんどこ森
(同約30分)まで約20分



ジブリパークの子チケットは毎月10日発売。

チケット料金

	大人	子ども(4歳～小学生)
ジブリの大倉庫	¥2,000 土曜 ¥2,500	¥1,000 土曜 ¥1,250
青春の丘	1,000円	500円
どんどこ森	1,000円	500円



ジブリの大倉庫



青春の丘「地球屋」



どんどこ森「どんどこ堂」

2022年11月1日、愛・地球博記念公園にジブリパーク第1期整備エリアがオープンします。まずは「ジブリの大倉庫」「青春の丘」と「どんどこ森」の3エリア。自然いっぱいの公園内にちりばめられたスタジオジブリの世界で、大さんぼしませんか?

パークのメインエリア

ジブリの大倉庫

ジブリの秘密がいっぱいつまった大倉庫。建物の中に生まれたふしぎな町には、作品展示や子どもたちが遊べる部屋、映像展示室、カフェやショップなど盛りだくさん。

愛・地球博記念公園とジブリパーク第1期マップ

青春の丘

丘の上から公園を見下ろすのは「耳をませば」の「地球屋」です。あのペランダからは園内を一望できます。

どんどこ森

「サツキとメイの家」で「となりのトトロ」の世界へ。裏山の頂上には「どんどこ堂」が待っています。子どもたちだけが中に入れますよ。

あるこうあるこうジブリパークで大さんぼ

STEP 21 県政 2022R04 REPORT



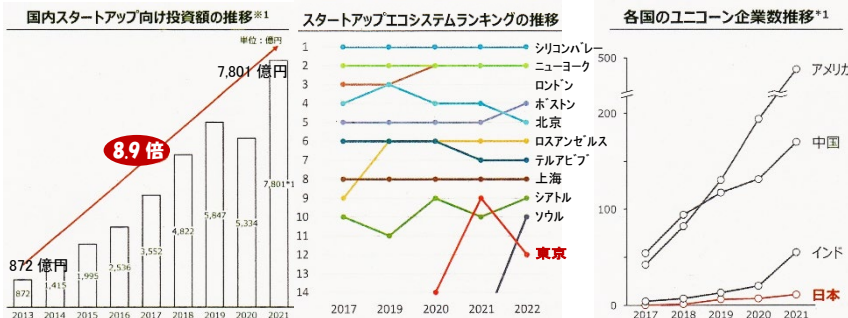
岸田総理大臣が年頭記者会見で
本年を**スタートアップ元年**と表明



■愛知県議会議長講演会



須崎議長が主催する議長講演会が「**スタートアップ・エコシステムの形成～スタートアップ支援拠点を活用したイノベーションの創出について～**」と題して経産省経済産業政策局石井新規事業創造推進室長をお迎えして開催されました。スタートアップはほぼベンチャービジネス(和製英語)と同義語で、①新規性(技術・サービス)②成長性(規模・社会インパクト)③新しい企業(概ね創業から10-15年以内)がポイントとなり、国内に1万社から1万5千社があるとのこと。国内スタートアップ向け投資額の推移は2021年は2013年の8.9倍と目覚ましい成長ですが、米国30~50兆円規模、中国でも10兆円規模に対し、日本は1兆円に届いていません。諸外国のように充実した公的支援が必要で、愛知県が取り組むステーションA i が大きな期待を担っています。



■大村知事推薦

新政あいち役員会にて来春2月5日執行予定の愛知県知事選挙に現職で4期目を目指す大村秀章知事の推薦を決定しました。9月26日の県議会代表質問にて天野正基新政あいち県議団幹事長が知事マニフェストのロードマップ330+1を評価し知事がそれに応える形で続投を表明され団として応援の意向を新政あいちに伝え決定したものです。また、10月6日に推薦決定した連合愛知と共同で大村知事をお招きして推薦状授与、記者会見をしました。



■稲沢市議会新役員等(敬称略)

議長 出口勝実 副議長 木全信明 荻須記念美術館令和4年度特別展
 総務委員会 東野靖道委員長 岡野次男副委員長 10月22日~12月4日 藤島武ニスケッチ百花
 (近藤 大津 加藤 木村 網倉 出口 六鹿) 大川美術館コレ
 文教厚生委員会 吉川隆之委員長 杉山太希副委員長 クションと名品
 (服部(礼) 富田 長屋 服部(猛) 星野 曾我部) の彩り
 経済建設委員会 津田敏樹委員長 北村太郎副委員長
 (平野 黒田 志智 木全 朽本 平床)
 議会選出監査委員 服部礼美香
 議会改革 長屋委員長 黒田副委員長
 議会運営 大津委員長 津田副委員長
 広報広聴 朽本委員長 長屋副委員長

STEP21

総領事館の方などをお迎えしてジブリパークの歓迎セレモニーが開催され初めて施設内を見学する機会を頂き精巧な創りに楽しく驚きました。内部写真の公開は議員には制約がありご覧頂けません。是非予約(大変ですが)して皆様でお出掛け下さい…**未来へつづくまちづくりへ**一生懸命動きます。愛知県議会議員 **鈴木じゅん**

●連合愛知尾張南地協最賃街宣

連合愛知尾張南地協(後藤豊田合成労組委員長)の最低賃金改定周知街頭宣伝活動に星野、木全、岡野稲沢市議と参加。最賃は31円アップして986円になり1000円まであと少しです。賃金も含め職場待遇の改善、働き方改革が必要です、その為には人件費の影響が大きい中小企業への支援も重要です。



●第15回稲沢市民空手道大会

空手道大会がコロナ対策をした中、松浦稲沢空手道連盟代表をはじめ関係者のご尽力と保護者の方のご協力により開催され凜とした気迫溢れる試合が披露され、鈴木も連盟の名誉会長として心身を鍛え礼節を重んじ忍耐力を養う空手道ははじめスポーツの素晴らしさを知って頂けたらと激励の挨拶をしました。



●愛知県尾張地区消防大会

消防相互の理解と連携を深め消防団の活性化を図るとともに安全で安心な住みよい社会づくりを推進することを目的に4年に一度の尾張地区消防大会が稲沢市で初めて開催され、大村知事の激励や表彰の後、稲沢消防団ガーベラーズの活動報告、稲沢どまつりダンスチーム SPICE! による演舞、小沢実消防団長の大会宣言、出口議長による万歳三唱などが行われました。尾張地区の消防体制は稲沢市ははじめ13市4町3組合 ※1からなります。



記念視閲 視閲者(大村知事)に敬礼(左端が稲沢市消防団小沢団長)



※1 稲沢市 一宮市 瀬戸市 春日井市 犬山市 江南市 小牧市 尾張旭市 岩倉市 豊明市(尾) 日進市(尾) 長久手市(尾) 東郷町(尾) 清須市(西) 北名古屋(西) 豊山町(西) 大口町(丹) 扶桑町(丹) 尾三消防組合(尾) 西春日井広域事務組合(西) 丹羽広域事務組合(丹)

愛知県新型コロナウイルス感染症

第7波の終息に向け

嚴重警戒

愛知県全域 10月1日～

B A. 5 対策強化宣言

は9月30日で

終了しましたが

嚴重警戒は継続しています。

感染対策のご協力を

お願いします。



「嚴重警戒」での感染防止対策 ①

県民	①外出の注意点	混雑した場所や感染リスクが高い場所を避けて
	②県をまたぐ移動の注意点	基本的な感染防止対策を徹底
	③高齢者等への感染拡大の防止	高齢者・基礎疾患のある方に配慮
	④基本的な感染防止対策の徹底	感染しない、感染させない
事業者	⑤飲食店等に対する協力要請	入場者の感染防止のための整理・誘導 手指の消毒設備の設置 入場者に対するマスク着用等の周知 等
	⑥業種別ガイドラインの遵守等	全ての施設で感染防止対策を自己点検
	⑦生活・経済の安定確保に不可欠な業務の継続	十分な感染防止対策を講じつつ、業務を継続
	⑧テレワークの推進等	テレワークやローテーション勤務の推進

「嚴重警戒」での感染防止対策 ②

事業者	⑨職場クラスターを防ぐ感染防止対策	休憩室等での注意周知
	⑩事業継続計画(BCP)の点検・策定	事業継続計画(BCP)を点検し、 未策定の場合は早急に策定
その他	⑪イベントの開催制限等	感染防止安全計画策定イベント 収容定員まで
		その他のイベント 5,000人又は収容定員50% のいずれか大きい方
	⑫行事等での対策	人と人の距離の確保、大声での会話自粛
	⑬学校等での対応	感染リスクが高い学習活動の実施は慎重に 再開を検討、部活動は感染防止対策を徹底
	⑭保育所、認定こども園、幼稚園等 での対応	感染リスクが高い活動は回避 (2歳未満児)マスク着用は要めない (2歳以上児)マスク着用は一律には求めない
	⑮高齢者施設等での対応	「介護現場における感染対策の手引き」に 基づく対応を徹底
⑯医療機関等の負担軽減に向けた対応	救急外来・救急車の利用は真に必要な場合のみ	
県	○ワクチン接種の機会の提供	○あいスタ認証店の普及

「嚴重警戒」での感染防止対策

第7波の終息に向け

県民・事業者の皆様へのメッセージ

愛知県では、8月5日からB A. 5対策強化宣言により、感染拡大の抑制に取り組んでまいりました。

その結果、新規陽性者数は減少傾向となり、病床使用率も改善の傾向が見られるため、B A. 5対策強化宣言については、9月30日までといたします。

この間、ご協力いただいた、すべての県民の皆様、事業者の皆様、医療関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

一方で、新規陽性者数の7日間平均値は3,000人程度と高い水準にあることから、今後も社会経済活動とのバランスをとりながら、感染拡大の防止に取り組んでいくことが不可欠であります。

県民・事業者の皆様には、引き続き、「嚴重警戒」での基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

また、第7波の終息に向けては、オミクロン株対応ワクチンの追加接種を、1人でも多くの方に、1日でも早く受けていただくことが重要です。県民の皆様には、積極的な接種の検討をお願いします。

オール愛知一丸となって、この第7波を克服し、安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻していくことができるよう、皆様一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

- 1 実施区域 愛知県全域
- 2 実施期間 10月1日(土)～
- 3 要請事項 別紙「『嚴重警戒』での感染防止対策」にご協力をお願いします。

2022年9月28日

愛知県知事 大村 秀章